月刊 FALCOM MAGAZINE

Vol.10



啄木鳥しんき
イラストメッセージ

あの冒険者たちが学園に乱入!?
みんな集まれ!
ファルコム学園

碧の軌跡 情報課通信

英雄伝説 空の軌跡
THE ANIMATION
遊撃士協会アニメ支部

ティオのファルコムラジオ
めんどくさいです…
でもがんばります
の舞台裏

ドラマCD
『英雄伝説 零の軌跡 レン物語
～陽光のぬくもりに抱かれて』
『英雄伝説 零の軌跡 第一章
～神狼たちの午後～』
のキャストコメントが到着!

jdkバンド・ボーカル

小寺可南子
インタビュー



FALCOM MAGAZINE

CONTENTS

※『零の軌跡 ショートストーリーズ』は、単行本作業のため休載です。
※『空の軌跡外伝 レーヴェ物語』は、作者急病のため休載です。



ファルコムjdkバンド（ボーカル）

小寺可南子インタビュー

最新作『英雄伝説 碧の軌跡』や
ＯＶＡ『英雄伝説 空の軌跡 THE ANIMATION』など、
数多くのファルコム作品の主題歌を務めるほか、
ラジオのパーソナリティも務め、今やファルコムサウンドを代表する
ボーカリストになった小寺可南子さんに、
歌手として、そしてファルコムサウンドメンバーとして、
いろいろお話を伺った。

——まずは簡単に自己紹介をお願いいたします。

小寺可南子（以下　小寺）：緊張するな～（笑）。ｊｄｋバンドのボーカルを務めさせていただいている小寺可南子と申します。よろしくお願いします！

——07年に新生ｊｄｋバンドの一員として活動される前から、歌手として活動されていたかと思いますが、歌手になろうと思われたのはいつ頃でしょうか。

小寺：歌は昔から大好きで、小さい頃に撮ったホームビデオでも、童謡とかを歌っている姿が残っていたりしているんですよ。でも、その頃は自分が歌い手になろうなんて夢にも思っていませんでした。実際に歌手という仕事を意識し始めたのは、音楽教室の恩師に勧められてボイストレーニングを始めた高校生の頃でした。

——その恩師の方はなぜ小寺さんにボイストレーニングを勧められたのでしょうか。

小寺：もともと私は3歳の頃から地元の音楽教室に通っていたんですね。そこで先生に勧められ、エレクトーンやピアノ、ドラムまで習っていたんですよ。それからしばらく経ち、高校生になった頃、私の親戚が結婚することになったんです。その時に突然「ピアノで弾き語りがしたい」と思いまして、先生に相談したんですよ。そうしたら、「そもそも君は歌えるのか、ためしに歌ってみなさい」ということになり、歌ったところ「これは見どころがある」と思っていただいたようで。それまでは、何をやってもダメだったんですけどね（笑）。

——その後、デビューまでの道のりはどのようなものでしたか。

小寺：まずは高校卒業後に、音楽の専門学校に進みました。しかし、入ったはいいものの、なかなか問題児でして（笑）。実技の成績はいいのに、授業態度がよろしくなかったり、出席日数が足りていないとかで……。卒業時も迷惑をかけっぱなしでした（笑）。当然、卒業時にも、「小寺はないわぁ」という雰囲気だったんですが、ベースの先生にお声をかけていただいて、音楽制作事務所を紹介していただいたんです。その事務所はCM制作なども手がけていまして、私もCM関係のお仕事でデビューさせていただいたという感じです。

——その事務所でお仕事されている中で、日本ファルコムと出会われたということですか。

小寺：そうですね。ｊｄｋバンドは07年ですが、一番初めにファルコムさんのお仕事をさせていただいたのは、06年に発売された『空の軌跡SC』のエンディングテーマ『I swear』でした。もともとその事務所では、う～みさん（『星の在り処』）や山脇宏子さん（『銀の意志金の翼』）、伊藤和子さんやしばざきあやこさんがすでにファルコムさんとお仕事されていたんですよ。演奏陣に関しても、今ｊｄｋバンドでベースを担当している榎本君とか、ギターの井上テル君も、直接事務所に所属というわけではないのですが、縁があったんですね。ちなみに後日知ったんですが、ファルコムさんが『SC』のエンディングを歌う歌手を選考する中で、私を指名





してくださったのが加藤会長（日本ファルコム株式会社会長）だったんですよ。本当に私は運がいいんだなと思いました（笑）。ちなみにそれまでの歌い手としての仕事は、デモソングやCMソングなど、15秒や30秒といった短いものばかりだったので、一曲まるまる歌わせていただくお仕事というのも、『I swear』が初めてでした。そして、「小寺可南子」とクレジットされる曲も初めてだったので、初めてづくしの思い出深い一曲です。

――『I swear』からjdkバンド再結成までの間はどのような活動をされていたのでしょうか。

小寺：ちょうど『SC』が出るタイミングで、ゲーム中の曲に歌詞をつけたボーカルアレンジバージョンの企画が始まりまして、『Dive into your fate』や『Missin'』をやらせていただきました。その時に歌っていた私、山脇宏子さんとしばさきあやこさんの名前のイニシャルを組み合わせるとたまたま『SKY』になるということで、『空の軌跡』にもかかっているし、そういうユニットを作ってイベントをしたいねと話していたんですね。すると、あれよあれよと実現化してしまい、渋谷でライブをやらせていただきました。演奏陣も今のjdkバンドの一員だったメンバーがいたりと、ある意味それがバンドの前身だったといえるかもしれませんね。でも当時は、ファルコムさんの音楽で継続してライブしていくなんて思ってもいませんでした。あくまで『SKY』のライブがやれてよかった！という感想でしたね。

――そして、07年についに「イース20周年」を記念してjdkバンドが再結成されたわけですね。

小寺：そうですね。ですが、jdkバンドは、『SKY』のライブメンバーがそのままスライドしたわけでもないですし、結成後もさまざまな状況に応じて参加メンバーが変わる、非常に流動的なバンドなんですよ。ですから当時は「結成！」という気持ちはまだ、そこまではありませんでした。ファルコムサウンドを生で聴いていただくというコンセプトを発揮する舞台として、「jdkバンド」という場所が生まれたイメージですね。私自身も、そのコンセプトが一番大切だと感じています。ゲーム内のBGMに近いクオリティの音楽を生で演奏できるメンバーが揃っていれば、それがjdkバンドだと思います。もちろん、長年ライブ活動をしていく中で、「このリズムを刻んでくれるのはあの人しかいない」というように、信頼関係は深まっていきましたけどね。それは私以外のメンバーも感じていることだと思います。

――結成後は、ライブ活動などを通して、より一層ファルコムサウンドに触れる機会が多くなったかと思いますが、ずばりファルコムサウンドとはどのようなものだと思いますか。

小寺：ちょっとズレたお話になってしまうかもしれないんですが、例えば私の持ち歌に『空の軌跡 the 3rd』の主題歌『Cry for me , Cry for you』っていう曲があるんですが、レコーディングをしている時はスピード感があってライブでも盛り上がるだろうなと思っていたんです。これが実際にライブで歌っていくうちに、合いの手を入れていただいたりと、生き物のように変わっていったんですよ。「この曲はこんな表情も持っていたんだな」と、いつもライブをするたびに驚かされています。これは『Cry for me , Cry for you』だけじゃなく、ほかのボー

ファルコムサウンドを生で聴いていただくというコンセプトを発揮する舞台として、「jdkバンド」という場所が生まれたイメージですね。





カル曲やインスト曲も同じなんですね。

――今までライブで歌ってきて、演奏を聴いてきた中で、特に思い入れのある曲を教えてください。

小寺：本当にいっぱいあって迷っちゃうんですが、「ライブで」ということであれば、やはり『Cry for me , Cry for you』になりますね。ライブでのパフォーマンスや、ステージの上で曲をどう表現するかということを教えてもらった曲のひとつがこの曲なんですよ。

――インストの曲ではいかがでしょうか。ちなみにインストの曲が演奏されている時は、どのように待機されているのでしょうか。

小寺：まず、はじめにインストの曲が演奏されている時ですが、私は楽屋に一度戻って、モニターでチェックしてますね。次に出るタイミングを計るというのはもちろんあるんですが、リハーサルでは歌以外にも、もちろんインストの曲も演奏しているわけです。みんながその時に作り上げた熱を何倍にもしてライブで放出しているので、その姿を見るのが単純に大好きなんです。「今回も爆発してるなー！」って（笑）。で、インストの曲から特に思い入れのある曲ということですが、これはバンドのみんなも好きだと思うんですが『Ys SEVEN』の『INNOCENT PRIMEVAL BREAKER』ですね。この曲のボーカルバージョンを歌わせていただいているからというのもあります。ほかには『イースⅡ』の『TO MAKE THE END OF BATTLE』とかも大好きですね。ものすごく高まります（笑）。

――少し意地悪な質問ですが、

ファルコムjdkバンド（ボーカル）
小寺可南子インタビュー

逆に歌うのが難しい曲はありますか。

小寺：私はカラオケも大好きで、最近ファルコムさんの曲もどんどん入るようになり、よく歌うんです。でも、何回歌っても難しいなぁって思うのは『イースⅠ&Ⅱクロニクルズ』で歌わせていただいた『In Adventure World』ですね。この曲は多分聴くからに難しいと分かっていただけるかとは思います。もうひとつ挙げるとするなら『ZWEI Ⅱ』の『ボクラノ未来』ですね。こちらは聴いている分にはそんなに難しそうでもないんですが、実際に歌うと本当に難しいです（笑）。疾走感のあるメロディーラインの中を十六分音符で刻んでいくんです。あと、サビがものすごく低いところから高いところまで広いレンジを行ったりきたりするんですね。そしてまた十六分音符のメロディーに戻ってくると（笑）。歌詞が壮大なのに、音に乗せることを意識しすぎるとその広がりが出せない、でも難しい！　という感じです。ぜひみなさんにも歌ってみていただきたいですね。ホントに難しいよ！　逆に歌いやすいのはバラードですね。バラードをもっと歌わせてください！

――今後、ライブで歌を入れてみたい曲はありますか。

小寺：今ちょうど『碧の軌跡』をプレイしているんですが、クロスベルの歓楽街で流れている曲とか、裏通りで流れている曲みたいに、ちょっとｊｄｋバンドではやったことのないテイストのものをボーカル、インスト問わずやってみたいですね。

――引き続きライブ関係のお話をお伺いさせていただきます。そもそも基本に立ち返って、ライブとCDの違いとはどこにありますか。

小寺：当たり前の話ですが、みなさんの前で演奏する前に、ゲームに収録するためにレコーディングをするわけですよね。でもそのタイミングだと、曲がどういうシーンで流れるかという情報を聞く前に音を入れているわけです。もちろん、主題歌とかは別ですけどね。そして、その時のレコーディングは、ゲーム内で流れることを意識して演奏しているんですよ。ですから、それをライブでみなさんに向かって演奏する時には、全然別のものになることも少なくないですね。ｊｄｋバンドはすべてが生演奏なので、打ちこみのシンセの音がなかったりするわけです。そんな中で原曲を可能な限り再現して演奏するので、怖くもあり楽しくもあります。原曲ももちろん大切なナンバーなんですが、ライブでしか味わえないものもたくさんあるので、ぜひ一度ライブで聴



いただきたいです。

――ライブに来てくれるファンのみなさんはズバリどのような人たちですか。

小寺：ひと言でいうとスポンジみたいな感じです。分かりにくい例えですみません（笑）。というのも、私たちが放出するものを、全部吸いこんでくれますし、かと思えば、その吸いこんでくれたものを、「そこまで搾って返してくれるの!?」っていうくらい、返してくれますから。本当に熱くて愛情にあふれた方たちだなぁっていつも思います。

――今年はライブももちろん、それ以外の分野でも大活躍をされていますが、10月からスタートしたwebラジオ『ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります』のパーソナリティというお仕事についてお聞かせください。

小寺：これはね「すいません！」としか言いようがないです（笑）。毎回現場に行くたびにミズさん（同じくパーソナリティを務める声優の水橋かおりさん）に、アドバイスをたくさんいただいているんですが、それ以上に仕事に向かう姿勢やひとつひとつの作業を見させていただくだけで勉強になります。パーソナリティのお仕事については楽しいのひと言です。「こんなに楽しくていいんですか!?」というぐらい（笑）。もともと大阪にいた頃は声優さんのラジオが大好きでよく聴いていたので、そんな方たちと同じ現場でお仕事できて、楽しくてしょうがないです。まだまだ勉強不足ですが、温かい目で見守っていただけるとうれしいです。

小寺可南子は全方位ファルコムさん一色で、今年はすごく幸せでした。



――そして、さらには『英雄伝説 空の軌跡 THE ANIMATION』で、アニメの主題歌デビューも果たされましたね。

小寺：ありがとうございます！

昔からアニメソングは大好きだったので、本当に感無量ですね。



2011年は本当にいろいろな夢が叶っちゃいました。もともと主題歌になった『銀の意思 金の翼』は、ライブで歌わせていただいていたんですが、今回はそのアレンジバージョンになります。ひとりで劇場上映を見にいったんですが、アバンタイトルが少しあったあとにオープニングという流れだったので、「ここで来たー！」とテンションが上がりまくっちゃいました（笑）。今まで歌わせていただいていたゲーム、そしてラジオ、アニメと、小寺可南子は全方位ファルコムさん一色で、今年はすごく幸せでした。

――今、全方位というお言葉がありましたが、以前ドラマCD『英雄伝説 空の軌跡 ヨシュア物語～封じられた記憶～』では、声優にも挑戦されていましたね。

小寺：それは……声優と言うのもおこがましいです（笑）。本当に申し訳ありません！ 本当にどの世界でもプロの方々というのはすごいですよね。歌手と同じく、マイクの前に立つお仕事なのに、こんなにも違うのかと思いました。収録後に、「好きだからってなんでも『やりたいです！』って言ったらダメなんだと」反省しまして……。役柄としては、すでに死んでしまっているヨシュアの姉・カリンをやらせていただいたんですが、今後また万が一、ドラマCDでカリンが登場することもあるかもしれないので、失礼のないよう、今でも家で練習は続けています。本当に声優をされている方々は尊敬してしまいます。

――いろいろな活動をされ、激動の一年だったかと思いますが、今後やってみたいことはありますか。

小寺：これは明確な答えがひとつありまして、jdkバンドでいろんな土地でライブをやりたいです。東京と大阪ではライブをしたことがあるんですが、札幌や名古屋、福岡のように、各都市でやれたらいいなという思いはずっと抱いています。これはバンドメンバー全員の願いなんですが、それとは別に、私個人としては、20代のうちに自分自身の足跡をなんらかの形で……例えば写真集とか、そういうもので残しておきたいという密かな野望があります。とは言ってみたものの、これは恥ずかしいのでカットでお願いします！（笑）あとは、ゲームをもっとやります！

――最後にファンのみなさんにメッセージをお願いします。

小寺：12月10日に『Falcom jdk BAND 2011 X'mas Live in YOKOHAMA BAY HALL』やります！ 今までライブに来てくださった方も、そうでない方も、ぜひ聴きにきていただければと思います。jdkバンドはライブのために作られたといっても過言ではないので、きっと楽しんでもらえるはずです。ぜひ、我々の生き様を見にきてください！ ラジオもティオ役の水橋さんはもちろんのこと、毎週豪華なゲストさんを迎え、さらにはラジオドラマがあったりとなんともぜいたくな番組です。そして、ラジオでもお伝えした通り、今年の年末に行われるコミケに、日本ファルコムさんが初出展されています。せっかくの出展なので、私も何かやりたい、なんなら売り子でもやりますよ！と思っています。ライブに冬コミと、「ファルコム三昧」の年越しをオススメします！

小寺可南子

ファルコム jdk バンド（ボーカル）
大阪府大阪市出身 6月19日生まれ O型
ヤマハ音楽院大阪ボーカル科卒業

日本ファルコムのゲーム『イース』や『英雄伝説』シリーズで主題歌やエンディングソングなどを歌唱。同ゲームソングを奏でるファルコム jdk バンドとして毎年様々なライブやイベントに出演している。他、都内で楽曲制作・ライブ活動をしながらコーラス、CM ソングやナレーションなど多岐にわたり活躍中。



ライブ情報



Falcom jdk BAND 2011 X'mas Live in YOKOHAMA BAY HALL

■開催日 2011年12月10日（土）
■時間　16：00（開場）　／　17：00（開演）
■会場　yokohama Bay Hall
■チケット　4,500円（税込）
スタンディング　／　ワンドリンク別
ローソンチケット [L コード：70982] ／ イープラスで発売中



10月から好評配信中のWEBラジオ『ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります』の舞台裏をこっそりお届け♪

ティオのファルコムラジオめんどくさいです…でもがんばります
■配信日　毎週金曜日、公式HP、ランティスラジオ、ニコニコ動画にて更新。
■メインパーソナリティ　水橋かおり（『碧の軌跡』ティオ・プラトー役）　小寺可南子（「ファルコムjdkバンド」ボーカル）
■公式ホームページ　http://www.falcom-radio.com/

第5回-第6回

遠藤綾（『碧の軌跡』エリィ・マクダエル役）
西原久美子（『空の軌跡』レン役）

12月に発売されるドラマCD『零の軌跡 レン物語 ～陽光のぬくもりに抱かれて～』、『零の軌跡 第一章 ～神狼たちの午後～』の収録直後ということで、「ドラマCDスペシャル」となった第5回、6回。「碧フィールド」では水橋さんと遠藤さんという特務支援課の女性コンビが、『碧の軌跡』の男性キャラを滅多切り（？）で大盛り上がり。レン役を務める西原さんが登場した「空フィールド」では、ドラマCDで主役を務め、OVAにも出演したレンの過去話に花が咲いた。

▶第1回-第2回の舞台裏◀

前回のゲストの際に起こった「にがトマトジュース事件が再び!?」とパーソナリティーが戦慄した料理は食べられなくもない出来という、リアクションに困る結果。一ファンとしては今後も続けて欲しいのひと言だが、スタジオに電子レンジなどを用意しないといけないため、なかなか難しいとのこと。残念！

第7回-第8回

佐藤利奈（『碧の軌跡』リーシャ・マオ役）
皆口裕子（『空の軌跡』クローゼ・リンツ役）

第7回、8回は、『碧の軌跡』で人気急上昇のリーシャ役を務めた佐藤利奈さんと、極上の癒し系ボイスで不動の人気を誇るクローゼ役の皆口裕子さん。「碧フィールド」では水橋さんと佐藤さんの出会いが語られたほか、佐藤さんの「貧乳」になりたいという発言に水橋さんが激怒するハプニング（？）が発生。「空フィールド」では、皆口さんの声を個人的にいっぱい聞きたいという水橋さんの要望により、番組進行からラジオドラマ、つぶやきと、皆口さん一色のコーナーとなった。

▶第3回-第4回の舞台裏◀

日本ファルコム本社に潜入した特務しれん課が、いかちゃん、ドギまっしぐら氏、近藤李洋社長、そして加藤正幸会長にまでインタビューをすることに成功。なかでも、加藤会長が小寺さんを見出したくだりでは、聞くまでは不安な表情を浮かべ、聞いた後は本当に感極まってしまう小寺さんの姿が印象的だった。







今月のコテガキ

毎週更新とともに発表される、小寺さん直筆の「コテガキ」を少しだけご紹介！

英雄伝説 零の軌跡 『レン物語～陽光のぬくもりに抱かれて』 『第一章～神狼たちの午後～』のキャストコメントが到着！

来月発売されるドラマCD２作品のキャストコメントが到着。『零の軌跡』のドラマCDシリーズがついにリリース開始となる今回の感想はいかに!?

英雄伝説 零の軌跡 『レン物語～陽光のぬくもりに抱かれて』



発売日：12月14日　**価格**：3,150円（税込）
発売元：キャラアニ

あらすじ

どことも知れぬ場所にある《楽園》。４人の少年少女と共に暮らすレンは、“仕事”をこなす彼らとは異なり、お姫様のような待遇で楽しく過ごしていたのだが……。

時は移り、クロスベルを訪れているレン。そこで彼女は、クロスベル警察特務支援課のロイドと出会う。偶然の出会いは、彼女の悲しい過去と繋がっていく……。

■西原久美子■ レン

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

すべてを出しきって抜け殻になってしまったような、そんな気分ですね。

―今回のドラマCD『レン物語』はどのようなお話でしょうか。

ひと言でいうと深いですね、とてつもなく（笑）。実は今回初めて、レンにこんなにつらくて重い過去があったことを知りまして、かなりショックを受けました。このドラマCDは彼女のつらい過去からエステルとヨシュアと出会い、幸せになっていくその過程を描いていく物語です。私自身も演者として、つらいシーンの演技をきちんとやらないと、その後の幸せに感動がないと思い、しっかりと演じさせていただきました。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

今回はありすぎですね。ぜひ、聴いていただいて、確かめていただければと思います。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

本当に深い作品なので、自分が最後まで演じきれたかどうかはわからないのですが、私自身が抜け殻になるぐらいがんばって演じたので、きっと素晴らしい作品になっていると思います。ぜひ聴いてみてください。

■神田朱未■ エステル・ブライト

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

なんと言うか、「じわ」っとしたものが体の中に残っているような感じです。とにかく長い時間をかけてここに辿り着いているので、その余韻だと思います。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

最後にエステルとヨシュアがレンと手を繋ぐシーンがすごく印象に残りました。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

この『軌跡』シリーズは、何枚もドラマCDリリースされているので、出る度に物語のピースが埋められていく気持ちですと、インタビューを受ける際に言っているのですが、今回のドラマCDでようやく最後のピースがはまり、次の『零の軌跡』に繋がっていくんだなぁと、感慨深い気持ちでいっぱいです。私自身も今すごくホッとしています（笑）。とっても素敵な作品になったと思いますので、聴いていただけるとうれしいです。

■斎賀みつき■ ヨシュア・ブライト

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

エステルにもヨシュアにも、もちろんレンにも、とにかく「よかったね」と言ってあげたいです。レ





ンはこれまで小悪魔的な笑顔は見せていたのですが、本当の笑顔ってなかなか見られなかったので、この後レンがエステル、ヨシュアたちと3人で暮らしていく中で、心から笑えるところを見ていけるんだなぁと思うと、とてもうれしい気持ちで一杯です。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

ヨシュア、そしてエステルとしては、「つかまえた」のひと言に尽きるのではないかと思います。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

レンのことをずっと見てきたみなさまにとっては、本当に待ち焦がれた、そんな物語になっていると思います。これを聴いたらきっと、泣いてしまったりしてしまう方もいらっしゃるかもしれませんが、最後には必ず笑顔になれるドラマCDだと思います。『軌跡』シリーズは本当に長いスパンで続いている作品ですが、ストーリーがしっかりと作られているので、どこを切り取っても素敵なお話が出てくる、そんなシリーズになっていると思います。これからも『軌跡』シリーズは続いていくということで、我々古参チームも出続けていきたいと野望を抱いていますので、新しいチームとともに、がんばっていけたらと思います（笑）。とにかくこのドラマCDは「いいお話」です。聴いてください！

■柿原徹也■ロイド・バニングス

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

今回こうして『零の軌跡』がゲームから になったことで、自分が演じさせていただいたロイドであったり、『軌跡』シリーズの世界をより深く知ることができて、とてもうれしかったです。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

最初にロイドがレンと出会った時は、ただただ不思議な少女だったのですが、今回の『レン物語』で、彼女が心の奥底に秘めている想いなどがすごく伝わってきましたね。この物語ではロイドがレンと一番身近に接していたということもあり、レンが特務支援課のメンバーになったような錯覚に陥りました。ロイドとレンは初めて一緒に行動するはずなのに、初めてな気がしないというか、そういう魅力を秘めた女の子でしたね。あと、作中に「ハロルド」さんというキャラが登場するのですが、その発声に名前が言いづらくてかなり手こずってしまったのが印象に残っています（笑）。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

収録するたびに思うのですが、本当にこの『軌跡』シリーズは終わることなく続いていきますね。（笑）それはやはり、応援し続けてくれる方がいてくれるからこそだと思います。その新作を収録する度に僕は、まだまだロイドを演じることを許されるんだなという喜びを噛み締めています。これからもそれに恥じないように、懸命に演じていきたいと思いますので、応援していただければうれしいです。よろしくお願いします！

■遠藤綾■エリィ・マクダエル

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

私も聴いていて、とてもうれしいなと思いながら演じていました。そして、今まで演じられてきたキャストのみなさんが長い月日を経て、こうして完結することができて良かったとおっしゃっているのを聞いて、とても素敵でした。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

レンは最初は大人っぽくて、ませている女の子という印象だったのですが、彼女が泣き出してしま





うシーンを聴くと、「本当はちっちゃな女の子なんだなぁ」というのがわかり、たまらなく愛おしいと感じました。

——ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

やはり『空の軌跡』『零の軌跡』『碧の軌跡』と、つながっている作品に携わらせていただくということはすごくうれしいですね。長いシリーズなだけに、人と人とのつながりも強く、ていねいに描かれていますから。ですからこのドラマCDは、『軌跡』シリーズが大好きな人にはきっと気に入っていただけると、(『軌跡』シリーズファンの) 水橋さんを見て確信しました (笑)。私自身も今後もエリィ役として、この作品に出続けられたらいいなと思いました。

■水橋かおり■ティオ・プラトー

——ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

ティオ・プラトー役、そして『軌跡』シリーズのファン代表のひとりでもある水橋です (笑)。『英雄伝説 零の軌跡』でレンちゃんの物語にひと区切りがついた時に、「ここを音で聴きたい！」と思っていたので、非常にうれしかったです。私も同じ作品に演者として参加しているはずなのに、ひとりのファンとして、すごいホッとしましたし、うれしかったです。



——印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

レンちゃんってずっと自分が両親に捨てられていたと誤解をしていて、そんな中で自分がいなくなった後に両親に彼女の弟が生まれたこと知った時、すごい複雑だったと思うんですよ。でも、体が勝手に動いて助けちゃう。そんな姿を見ると、「やっぱりレンちゃんはやさしい子だったんだな」って再認識しました。そのやさしさをエステルは最初から見抜いていたんでしょうね。

——ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

今回のドラマCDは、レンの物語であることは間違いないのですが、ちょうど『零の軌跡』の特務支援課と、『空の軌跡』の遊撃士が絡むシーンを描いているということでもありますので、そういう意味でも楽しめると思います。あと、私自身がエステルとヨシュアのファンなのでおもしろいと思ったのが、エステルの父親であるカシウスがヨシュアを見つけて育てたのと同じように、エステルもレンを見つけたということなんですね。ですから、レンちゃんに「今度はあなたが誰かを見つけてあげる番なんだよ」って伝えたいと思います (笑)。

■三木眞一郎■ランディ・オルランド

——ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

この物語は最初に台本を読んだ時、「すごく難しいだろうな」と思いましたね。なので、自分自身としても、早く完成したものを聴いてみたいと思っています。

——印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

レンのことをずっと見守ってきたファンの方はもちろんのこと、このドラマCDで初めて聴く方も、聴いていく中でどんどん引き込まれていく物語になっているので、どこというよりはすべてですね。

——ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

豪華なキャストで、とても素晴らしい一枚に仕上がっていると思いますので、いろいろな方に聴いていただければと思います。そしてもし、このドラマCDで初めて『軌跡』シリーズに興味を持っていただいた方がいましたら、もとのゲームもプレイしていただければとうれしいです。



英雄伝説 零の軌跡
『第一章 〜神狼たちの午後〜』



発売日:12月14日 **価格**:3,150円(税込)
発売元:キャラアニ

あらすじ

クロスベル警察特務支援課に、特別命令が下る。国境警備隊のソーニャ副司令から頼まれたのは、狼型魔獣に関する被害調査。魔獣の襲撃にしては不審な点が多いこの事件の捜査線上に浮かび上がったのは、この地方に伝わる伝説の存在《神狼》。捜査を続けるロイド達は、その過程でティオの過去を垣間見ることになる……。

■柿原徹也■ロイド・バニングス

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

かれこれ僕がロイドを演じさせていただいてから、ドラマCDが何枚のドラマCDが出たのでしょう…かというぐらいの歴史になってきました。長く続く『軌跡』シリーズの中で、『零の軌跡』もその歴史のひとつになりつつあるんだなと感慨深いです。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

シーンというわけではないのですが、こうして役者のみなさんと『零の軌跡』という作品に携わらせていただくうちにできるできあがった、距離感の近い演技を楽しんでいただきたいと思います。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

このドラマCDは、ゲームをプレイしたことがない人でも充分楽しめる出来になっていると思います。僕自身も、ゲームとドラマCDの台本をあわせて読んでいくに連れて、作品に深く入り込んでいけるようになりました。たくさんの人がこのドラマCDを聴いてくれること、そして原作のゲームをプレイしてくれることを願っています。ありがとうございました。

■遠藤綾■エリィ・マクダエル

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

こうしてドラマCDで演じさせていただく度に、特務支援課の人たちの関係性がより深く分かっていくので、本当にありがたいと思います。ゲームだけですと、声のないシーンもあるので、プレイするまで分からないところもあったのですが、こうやってみなさんとかけ合いながら演じられて、本当によかったと思います。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

ドラマCDとして、物語がしっかり描かれていきますので、ランディはよりランディらしく、ティオはよりティオらしくなっていると思います。そこを楽しんでみてください。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

今回は「第一章」ということで、ゲームでは描ききれなかったシーンや声の演技が盛り込まれています。水橋さんのお墨つきです(笑)。今後も精一杯エリィを演じていけたらと思いますので、応援よろしくお願いいたします。

■水橋かおり■ティオ・プラトー

―ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

私はもちろん『零の軌跡』もプレイしたのですが、「この場面に声が欲しいなぁ」って思っていたところに、ドラマCDとして声がついてくれてとても楽しかったです。

―印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

聴きどころはやはり、今回初めて声がつくキャラクターですね。みなさんも「どんな声なのかな?」と想像されながらプレイされていたかと思いますが、ピッタリです! 特に、ソーニャさんは、『碧の軌跡』をプレイされた方はお分かりかと思いますが、「あの人」とのシーンが想像できるような素敵なお声でした。

―ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

今回初めて声が当たる人たちは本当にピッタリです。キャスティングを見た瞬間に「あー! うんうん!」とニヤニヤしていただけると思います。今後もドラマCDは続いていくと思いますので、そういうところも含めて楽しみにしていただけるとうれしいです。私自身も楽しみにしています!



■三木眞一郎■ランディ・オルランド

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

『零の軌跡』の第一章が今回ドラマCDになりました。これも、応援してくださったみなさんのお力があってのことです。ありがとうございます。テンポのいい仕上がりになっていて、聴きやすい一枚になっていると思います。

――印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

セシルに初めて声が当たります。ランディとしてはお近づきになりたいですね（笑）。残念ながら本編ではふたりの会話シーンはあまり多くはなかったのですが、ぜひオリジナルでお近づきになるシーンを作ってほしいなと思います。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

重ね重ねにはなるのですが、今回はみなさんのお力があってこそのドラマCDです。これを聴いて、おもしろいと思ってくださった方はアンケートにその旨を書いて送ってください。そうすれば第二章、第三章と続けていけるかもしれません。セシルさんのように、今後も新しく声が当たるキャラクターがどんどん登場して、おいしいドラマCDになると思います。応援よろしくお願いします。

■神田朱未■エステル・ブライト

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

『零の軌跡』のドラマCDがスタートするということで、エステルとヨシュアが特務支援課と初めて出会うシーンを演じさせていただきました。これからも『零の軌跡』では、次々と新たな魅力的なキャラクターが活躍していくかと思います。私たちエステル、ヨシュアはその活躍の中で、ひっそりと登場できたらいいなと思っているところです（笑）。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

ついに新しいシリーズのスタートが切られたというドラマCDになっていると思います。同じく、ここからドラマCDを聴く方、前のシリーズから応援してくださっている方、みなさんが一緒に「せーの」でスタートしていく一枚でもあると思います。ぜひ今後もこのシリーズを追いかけていただければうれしいです。よろしくお願いします。





■斎賀みつき■ヨシュア・ブライト

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

こうやって『零の軌跡』でも、こっそりと関わることができてうれしいと思います。エステルたちは遊撃士で、ロイドたちは警察ということで、組織としてはお互いにいろいろな感情はあるかと思いますが、エステルたちと支援課のメンバーがその架け橋になってくれるんだなと思わせてくれるお話でした。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

『軌跡』シリーズの新章ということで、今後もまた新しい魅力的なメンバーがところ狭しと活躍してくれると感じさせてくれるような「第一章」になりました。『軌跡』シリーズはこれからもどんどん続いていくと思いますので、応援をしていただいて、さらに広げていっていただければと思います。

■大原さやか■セシル・ノイエス

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

『軌跡』シリーズに今回初参加ということで、とても緊張しました。実際に現場に入ってみると、長いシリーズにふさわしいチームワークができていたので、胸を借りるつもりで演じさせていただきました。

――印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

セシルはロイドのことが大好きでちょっと天然な女性なのですが、ロイドは過去にも彼女のそんなところに振り回されていたんだな、でもロイドはそういうところも含めて彼女のことが好きなんだと思います。今回はそんなふたりの関係性がちょっとでも感じていただければうれしいです。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

支援課のメンバーはもちろんですが、初めて声があたるキャラも愛して下さい！（笑）



進藤尚美 ソーニャ・ベルツ

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

『軌跡』シリーズには、以前ラッピィというキャラクターで一度参加させていただいたのですが、今回はストーリーの本編に関わる役を演じさせていただくことになり、新鮮な気持ちで収録に臨みました。

――印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

ソーニャは警備隊の中でも一目を置かれているカリスマ的な存在でもあるのですが、私はそういう面よりも、状況に応じて自身で判断できる柔軟さやユルさを持っているなという印象を受けて演じました。そんな彼女の警備隊副指令としての厳しさと、女性らしい柔軟さを感じていただけたらうれしいです。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

ゲーム作品がドラマCDになると、ひとつの完成されたドラマをじっくり聴ける楽しみが生まれると思います。ファンのみなさんにはきっと楽しんでいただけると思いますので、じっくり楽しんでください。

金子英彦 ヨアヒム・ギュンター

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

『軌跡』シリーズのドラマCDに参加するのは私も初めてで、現場にマイクが6本あることにびっくりしました（笑）。私が演じたヨアヒムというキャラクターは、ゲーム本編だとクライマックスに近いところにのみボイスがついていたので、普段の病院に勤めているヨアヒムを演じたのは今日が初めてでした。緊張しました（笑）。

――印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

ヨアヒムの登場のシーンで、いきなり『僕はMだと思うんだけどなぁ』というセリフがあるのですが、それまで僕は、彼はドSだと思っていたんですね。でも今回演じていく中で、彼が演技でMと言っているのか、本気で言っていたのか悩みました。一番葛藤したポイントですね（笑）。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

ゲームとはまたひと味違う世界観が、ドラマCDにはあると思います。きっと楽しんでいただけると思いますので、ぜひ聴いてください。

井上富美子 シズク・マクレイン

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

すでに『軌跡』チームができているところに今回初参加させていただきましたので、とても緊張しました。シズクちゃんという小さな女の子そのままに、私もみなさんに引っ張っていただく形で演じさせていただきました。

――印象に残ったシーンやセリフがありましたらお教えください。

目が見えないのに、1人で入院しているシズクちゃんですが、大好きなお父さんの話題が出ると年相応に無邪気になるのが印象的でした。暗い子にならないよう、最初は少し利発に演じてみた所、「もう少し子供らしく」という事で。私自身、普段ははきはきと喋ってしまう為、子供らしさのバランスが難しかったです。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

本当に素敵なメンバーによる、チームワークの良さが表れた作品です。私もその一員になることができてとても光栄でした。この一体感を楽しんでいただければと思います。

西原久美子 レン

――ドラマCDの収録を終えた、今のお気持ちをお聞かせください。

今回はロイド君と人形工房でお話するシーンを演じたのですが、残念ながら一緒には収録できなかったので、今度はぜひ一緒に演じてみたいですね。

――ファンのみなさんへメッセージをお願いします。

新シリーズの開幕ということで、私自身はティオにすごく注目しています。ティオとレンはどうやら繋がりがあるとのことですので、その辺りを描いたお話も作っていただければなと期待しています。









みんな集まれ！ファルコム学園

新久保だいすけ

魔物と冒険者



新米の証



ワーキングソーサリアン



牢屋のソーサリアン



忘却の王子



脱出のソーサリアン



姫と王子



THE LEGEND OF HEROES

碧の軌跡 アオノキセキ 情報課通信

碧の軌跡の情報をいち早くお届け!!

『零の軌跡』から『軌跡』シリーズを始めた人必見！

序章～第一章の小ネタチェック3!

メインストーリーの重厚さはもちろんのこと、モブキャラクターとの会話やサブクエスト、隠しクエストなど、やりこみ要素が盛りだくさんの『軌跡』シリーズ。そこで今回は、『碧の軌跡』の序章から第二章までの、特に見逃しがちな小ネタをチェック！「まだそこまで行ってないよ～」という人は要注意！

その1 アルタイルロッジの攻略は完璧？

やはりやりこみ要素の基本といえば、まっさきに思いつくのが戦闘手帳と宝箱のコンプリート。その視点で見ると、序章のアルタイルロッジはイベントが終わると二度と訪れることができないので思わぬ難所になるはずだ。戦闘手帳と、「RECORD」内の宝箱の欄をチェックしてみよう。戦闘手帳は全部で11種類、宝箱は全部で16種類（5.6%）だ。

その2 ニールセンの取材は受けた？

前号でも特集した盲目の凄腕ジャーナリスト・ニールセン。彼は、全クエストの達成、捜査官の1stランクを獲得するためのDP、そしてなんと実績にも関わってくる超重要キャラなのだ。しかも、それらはすべて、隠しクエストなので見逃しがち。一度目の登場は第一章の二日目なので、クロスベル中をくまなく探すべし！

その3 黒月のシン少年のクロスベル案内を請け負った？

こちらもニールセンほどではないにせよ、後々の追加DPに影響してくるサブクエストだ。このクエストのみで考えても、高い取得DPと絆ポイント、特殊アイテムをゲットできるおいしいクエストになっているので、見逃し厳禁。第二章開始時から起こるイベントなので、シン君をきちんといろいろなところに案内してあげよう。

『空の軌跡』キャラクター紹介 第2回

<<身喰らう蛇>>の<<執行者>>No.ＸＶ<<殲滅天使>>の異名を持つ11歳（SC登場時）の少女。一見、可憐な美少女だが、巨大な鎌と<<パパ(パテル)とママ(マテル)>>という巨大な戦闘人形を操り敵を殲滅する非情な面を持っている。また、学問、戦闘技術を問わず、何事もすぐに本質を見抜き、修得してしまう天才でもある。幼い頃に父・ハロルドが事業に失敗し、レンだけでも危険な目にあわないようにと、彼女を友人に預けたが、その友人宅が何者かの襲撃に遭ってしまう。レンはその後、教団の<<楽園>>と呼ばれるところに連れていかれ、非人道的な扱いを受ける。その後、ヨシュアと<<執行者>>のレーヴェに救出されるものの、両親に捨てられたと思った彼女は、両親の存在を否定、<<パテル＝マテル>>を本当の両親だと信じ込み、『お茶会』と称した数々の工作活動を行っていた。エステルはその境遇を知り、彼女を「家族」として受け入れるべく、逃げるレンを追いかけ続けていた。





■レン
（CV：西原久美子）*
初登場：『空の軌跡SC』

*：レンのボイスは『空の軌跡SC』、『空の軌跡the 3rd』のものです



遊撃士協会 アニメ支部

英雄伝説 空の軌跡 ソラノキセキ THE ANIMATION

アニメ版『空の軌跡』の最新情報を毎号レポート！

Vol.2の場面カットが早くも到着！

Vol.1も好評発売中のOVA『英雄伝説 空の軌跡THE ANIMATION』から、早くも2月24日に発売されるVol.2の場面カットが到着した。到着したカットのシーンはふたつ。ひとつは結社の戦艦・グロリアスに捕らえられたエステルのシーン。もうひとつは、ヨシュアがまだハーメル村にいた頃を描いたシーン。どちらも『空の軌跡』のハイライトを飾る重要なシーンだけに期待大だ。



▲お馴染みのハーモニカを吹くのはヨシュアの実の姉・カリン。平和な日常を過ごしていたヨシュアたちだが、ある日ハーメル村に悲劇が訪れて……

▲どうやら捕らえられたエステルはレンと行動をともにし、そこでレーヴェと出会うらしい……!? そして、グロリアスの超巨大なスケールを忠実に再現した背景にも注目だ



Vol.1は好評発売中!

■製品情報

BD初回限定版にはイベントパンフレット縮刷版、特製生フィルムほか特典満載！

BD初回限定版　¥8,190(税込)

BD通常版　¥6,090(税込)

DVD通常版　¥5,040(税込)

(全2巻シリーズ)

<BD通常版・DVD通常版 共通特典>

封入特典：特製ブックレット（16P）

映像特典：ノンクレジットOP＆ED、オーディオコメンタリー

販売元：バンダイビジュアル

【公式HP】 www.sora-anime.com

【スタッフ】

監督：橘 正紀

シリーズ構成・脚本：上江洲 誠

キャラクター原案：日本ファルコム

キャラクターデザイン・総作画監督：野崎あつこ

アニメーション制作：キネマシトラス

【キャスト】

エステル・ブライト：神田朱未

ヨシュア・アストレイ：斎賀みつき

シェラザード・ハーヴェイ：塩山由佳

オリビエ・レンハイム：子安武人

ティータ・ラッセル：今野宏美

アガット・クロスナー：近藤孝行

クローゼ・リンツ：皆口裕子

レオンハルト：緑川 光

ブルブラン: 三浦祥朗

レン：西原久美子

ほか

▶ファルコムニュース◀

ファルコムファンに贈る最新ニュースをピックアップ！



日本ゲーム大賞W受賞記念 零＆碧の軌跡 ゴールドキャンペーン

これから始める人必見の豪華キャンペーンが開催！

『零の軌跡』『碧の軌跡』が「日本ゲーム大賞」をW受賞したことを記念し、日本ファルコムが豪華キャンペーンを開催。12月10日から始まるこのキャンペーンは、12月15日に発売される『零』『碧』がセットになった「ゴールドセット」を買った人と、その買った人に紹介した人も豪華特典がゲットできるというユニークなもの。詳しくは日本ファルコムの公式ホームページをチェックだ！





英雄伝説 空の軌跡 3

大人気コミカライズ作品の単行本第３巻がついに発売！

本誌のイラストメッセージでもおなじみの啄木鳥しんき先生が手がけるコミック版『空の軌跡』の単行本第３巻がいよいよ登場。海港都市ルーアンが舞台の今回は、謎の少女レンとの再会、そしてルーアンを巡る陰謀と、見どころ盛りだくさん！　12月10日、角川グループパブリッシングより発売。630円（税込）。

日本ファルコムがコミックマーケット初出展！

今年最後の大イベントでレアアイテムをゲットせよ！

12月の29日から31日までの三日間にわたり開催される「コミックマーケット81」に、日本ファルコムが初出展することが決定した。『空の軌跡』の名曲『星の在り処』をいろんなアーティストが歌う『ほしのありかざんまい』など、このイベントでしかゲットできないレアアイテムが多数登場予定とのこと。情報は随時、公式ページ内にある特設サイトで更新されるので要チェックだ！

Bonus Track

特務支援課 VS ヴァン・ジョー

シナリオ(決定稿)

PSP版『碧の軌跡』のキャラアニ特典ミニドラマCD用に書き下ろされたドラマのシナリオをボーナストラックとして掲載！シナリオは前回の『イース＆空の軌跡 vs ヴァン・ジョー』と同じく田沢大典氏。ジャケットイラストはこれまた本誌四コマでお馴染み、新久保だいすけ氏だ！





月刊 FALCOM MAGAZINE Vol.10

発行人	田中一寿
発行協力	日本ファルコム株式会社
編集	小渕智幸 大場恵美子
デザイン・DTP	さとうだいち 青木真矢 武田崇廣（テクノデコ）
表紙ロゴデザイン	荻窪裕司（ビーニーズ）
協力	バンダイビジュアル株式会社 株式会社キャラアニ
発行	株式会社フィールドワイ 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-1-9　日光ビル3F TEL 03-5282-2211（代表） http://www.field-y.co.jp/
制作・販売協力	シナノ印刷株式会社

特務支援課 VS ヴァン・ジョー

○キャスト

ロイド・バニングス……柿原徹也
エリィ・マクダエル……遠藤　綾
ティオ・プラトー……水橋かおり
ランディ・オルランド……三木眞一郎
キーア……釘宮理恵
ヴァン・ジョー……銀河万丈

○アフレコスタジオ

銀河　「特務支援課の新たな戦いが幕を開ける。英雄伝説・碧の軌跡・9月29日発売！」

銀河　「……あ、OKですか。ありがとうございます」

スタジオの扉を開けて出てくる。

銀河　「おつかれさまでしたー。あ、ちょっと座らせてください」

ソファに座る音。

銀河M　「ふー……最近忙しいなぁ。どっか海外でも行きたいなぁ。そう、日本とは全然違う国で。……おお、クロスベルとかいいな。なんだか楽しそうなところだし」

銀河　「『まぶたを閉じて開けると、そこはクロスベルだった』。な〜んちゃって……」

○クロスベル市街

クロスベル市街の喧噪。

銀河　「……え。えええ〜〜っ!?　な、なにここ!?　なんでヨーロピアンな街の中にいるの俺!?　さっきまでスタジオにいたのに!?」

銀河　「ハッ！　もしかしてここは……クロスベル!?　じゃあなに、さっきのナレーションで本当にきちゃったってこと!?　こんなことって本当に……」

徐々にシリアスなテンションになっていく。

銀河　「……いや、あった、あったぞ、前にもこんなことが。その時はそう、たしかザナドゥとか言う世界に行って……そうだ、だんだん思い出してきた……ナレーションで世界のすべてを思うがままに操る……そう、我が名は……我が名は……ギャラクシー・ヴァ（ン）・ジョー）！」

キーア　「ねーねー、おじさん！」

コン、とコミカルなSE。

銀河　「へ？」

キーア　「道の真ん中に立ってると、あぶないよ？」

銀河　「え……」

ププー、とクラクションの音

銀河　「あぁっ、す、すいません！」

キーア　「ほら、こっちこっち。道路の真ん中は、導力車が走ってて危ないから歩いちゃダメなんだよ」

銀河　「ああ、ありがとうね。……おや、おじょうちゃんは確か……キーアちゃんじゃないかい？」

キーア　「うん、キーアはキーアだよ。…アレ？　なんでおじさん、キーアのこと知ってるの？」

銀河　「知ってるよー。キーアちゃんはとってもかわいいからねー」

キーア　「えへへ、ありがとう！　ところでおじさん、誰？」

銀河　「おじさんはね……あれ？　さっきなんか、本当の名前を思い出しそうだったんだけど……んん？」

キーア　「思い出せないの？」

銀河　「あぁいやいや、違うんだ。おじさんはね、銀河万丈と言います」

キーア　「ヴァン・ジョー？」

銀河　「ヴァン・ジョーじゃなくて、万丈」

キーア　「ヴァン・ジョー！　なんかかっこいい名前だねー！」

ヴァン　「……まぁいいか。そうです、わたしはヴァン・ジョー

です！　キーアちゃんも、かわいい名前だよ」

キーア「えへへー！」

ヴァン「はぁ……キーアちゃんは本当に心根が素直で良い子だ……ったく、なんであの、弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎のところばかりにこんなかわいい子が……！」

キーア「りあじゅう……？」

ヴァン「弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎め！」

キーア「おとうとぶるじょわじー！」

ヴァン「そうだ！　弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎め！」

徐々にフェードアウトしていきます。

キーア「おとうとぶるじょわじーのそうしょくけいだんしを……なんだっけ？」

銀河「弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎め！」

○支援課ビル・玄関

扉を開ける音。

キーア「たっだいまー！」

ランディ「おう、帰ったかキー坊」

ティオ「おかえりなさい」

エリィ「キーアちゃん、おかえりなさい」

ツァイトのウォン！　という鳴き声

キーア「ただいま、ランディ、ティオ、エリィ、ツァイト」

ロイド「おかえり、キーア」

キーア「ただいまー。——弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎！」

ロイド「…キ…キーアアアアァァァァァーーーーッ!!（絶叫）」

ピキッ、とガラスにヒビが入る音。

ティオ「キーア、どどどどうしたのですか？」

エリィ「不良よ！　キーアちゃんが不良になってしまったわ！」

ランディ「こんな汚ねぇ言葉使いを教えるたぁ、もしかしてサーベルバイパーの仕業か!?　野郎……！」

ツァイトのウォン！　という鳴き声

ティオ「え？　ロイドさんが息をしていない……？　ツァイト、いまはそれよりも重要なことがあります」

エリィ「ああああどうしましょう、キーアちゃんはこんな子

じゃなかったのに……！　私たちの教育方針が間違っていたのかしら……！」

ランディ「デスストームをぶち込んで一撃で戦闘不能にしてやる……！　いや、そんなもんじゃ足りねぇ、じわじわと苦しみを与えて……！」

ヴァン「なにやら大騒ぎだねぇ」

キーア「あ、ヴァン・ジョー。こっちこっち」

ティオ「え……キーア、その人は一体？」

ヴァン「あ、どうも初めまして、ヴァン・ジョーと申します」

エリィ「お、お客様!?　すみません、お客様の前でこんなに取り乱してしまって……」

ランディ「なんだ、キー坊の友達か？　……にしてはおっさん過ぎるような……」

キラーン！　と目が光る音。

ヴァン「んんっ！　な、なんと見事な赤毛……！」

ランディ「な、なんだよ、おっさん」

ヴァン「その赤毛を見ていると……見ていると……ナレーションをあてる衝動が抑えきれない……！　『ランディは、ヴァン・ジョーを出迎えるために、テキパキとお茶の用意を始めるのだった』」

ランディの声、徐々に遠ざかります。

ランディ「え？　う、うおおっ!?　なんで……身体が、勝手に動いて……！　おい、俺は別に台所になんて行きたく……！」

エリィ「ランディ、どうしたの？」

ティオ「さぁ……」

ヴァン「ご心配いりませんよ、エリィさん、ティオちゃん」

ティオ「え……」

エリィ「どうして私たちの名前を？」

キーア「ヴァン・ジョーね、キーアのことも知ってたんだよ！　すごいよねー」

エリィ「どういうこと……？」

ティオ「まさか……黒月（ヘイユエ）の使いですか？」

かちゃり、と魔導杖を掲げる音。

ヴァン「あー、そんな物騒な魔導杖（オーバルスタッフ）はしまってください。実は……ティオちゃんにはお土産があるんです」

ティオ「……物で買収、というわけですか。そんな単純な手にわたしがひっかかるとでも……」

ヴァン「じゃーん！　ちびみっしぃぐるみ～！」

キラキラ系のＳＥ。

ティオ「こ、これは……！　『大きくて抱き心地抜群！』なみっ

しぃぐるみのキュートさはそのままに、手のひらサイズにまで縮めた至高の逸品！　あの『見てるとビミョ〜にイラッとする』困り顔も完全再現‼　手のひらの上にのっけて、頭をなでなで〜っとすれば、そのままエイドスの御許にまで導かれてしまいそうな幸福が‼　……こんな商品、みっしぃグッズのラインナップには……！」

ヴァン「この度、ラインナップに加わることになってね。関係者特権で先にいただいてしまったわけだが……フフフ……これ、欲しくないかね？」

ティオ「エリィさん、この人は悪人じゃないと思います」

エリィ「買収されてる！　あっけなく買収されてるわティオちゃん！」

ティオ「違いますエリィさん。エイオンシステムがリミットブレイクしていますがこの人からは悪の導力波を感知できません。これはジャスティスです！」

エリィ「おめめぐるぐるで何言っても説得力ないわよ！　なんかキャラも違ってるし！」

ヴァン「いや〜、喜んでいただけたようでなによりです。では、どーぞ」

ティオ「はあぁ……！　みっしぃ……！　すりすり……」

キーア「いーなー」

ティオ「え」

キーア「いーなー。キーアも、それ欲しい」

ティオ、シリアスなトーンになって。

ティオ「……いいですかキーア。これは、とても危ないものなのです、危険度マックスです。」

キーア「あぶない？」

ティオ「そうです。みっしぃぐるみのキュートさにかかると、大の大人でも思わず見とれてしまい、一日中まったく仕事が手に付かなくなるほど。そしてそのまま引きこもり街道直行です」

キーア「ティオの言ってること、よくわかんないけど……」

ティオ「とにかく、危険なものなのです……！　だから、キーアにはまだ早いのです。わかりますね？　わ・か・り・ま・す・ね⁉」

キーア「う、うん、わかった……」

ティオ「……分かってもらって、よかったです」

キーア「なんか、ティオこわい……」

エリィ「ちびみっしぃぐるみ欲しさに、キーアちゃんを丸め込むなんて……！　みっしぃがからむと、ティオちゃんは本当に人が変わるわね……」

ヴァン「なんだ、キーアちゃんもちびみっしぃぐるみが欲しかったのかい？」

キーア「うん！　あ、でも、ティオがあぶないって……」

ヴァン「そうかー、それは残念だね。じゃあ、おじちゃんが別のやつをあげよう。ほら！」

キーア「わーい！　ありがとう！」

ティオ「ああああーーーーっ！　そ、それは……！」

ヴァン「ほほぅ……さすがに気づいたかね？　そう、これはちびみっしぃぐるみではない。『ちびみーしぇぐるみ』だ！」

ガーン！　とSE。

エリィ「みーしぇ……？」

ティオ「そんな……ッ！　ちょっとドジなみっしぃをいつも生暖かく見守っている健気な妹という設定のみーしぇには、未だ公式グッズはひとつも出ていないはず……！　いわば、幻の超レアアイテム！　そ、それを何故……」

ヴァン「フフフ……こちらもセットでグッズのラインナップに加わることになってね。いやぁ〜、ティオちゃんがキーアちゃんに、みっしぃぐるみを素直にあげていれば、これはティオちゃんの手元に行ったんだけどなぁ〜」

ティオ「キ、キーア？　その、このみっしぃぐるみと、キーアがもらったやつを、交換しても……」

キーア「えー？　でも、ティオの持ってるやつってあぶないんでしょ？　だからキーア、こっちでガマンする！」

ガーン！　とSE。

ティオ「……は、はい……そう、です……ね……」

キーア「ティオ、泣いてるのー？」

ティオ「ないてなんて……いません……っ！」

エリィ「策士、策に溺れるとはよく言ったものね……」

ガチャガチャとティーカップを運んでくる音。

ランディ「だからっ、なんで身体が勝手に動くんだよ！　おい、おっさん！　あんたの仕業なんだろ！　止めろよ！」

エリィ「そう言いつつ、見事な手際でティーカップを準備していく……なんだか、とってもシュールね」

ティオ「普段のがさつなランディさんからは、想像もつかないです……」

キーア「ランディ、すっごーい！」

ランディ「そ、そうか？　いやぁ〜それほどでも……って、そうじゃねえ！」

ヴァン「お茶も入ったことですし、みなさん少し休憩しませんか？」

エリィ「え、えぇ……(小声で)なんでこの人がしきってるのかしら」

ティオ「……ロイドさん、ロイドさん、そろそろ起きてください。お茶の時間ですよ、ロイドさん。……固まったまま動きませんね。…それでは…コホン……ラスト・ディザスター！」

ドガーン！　と魔法がさく裂するSE。

ロイド「どわあああああっ！　ハッ！　あれ……どうして俺、こんなところに倒れてるんだ？……。それになんだか、ヒドく嫌な夢を見た気がする……」

ティオ「夢じゃないんだけど……」

エリィ「さっきの、あの一言を記憶することを、ロイドさんの頭が全力で拒絶しているんですね」

キーア「あ、ロイド。おはよー」

ロイド「あぁ、おはようキーア」

ヴァン「チッ！　起きやがったか……」

ロイド「……あれ？　その人はいったい……」

ティオ「大丈夫です。ロイドさんの意識が深淵の奥深くまでブッ飛んでいる間に話はだいたい済んだので」

エリィ「それよりもロイド、喉、渇いてるんじゃない？　お茶にしましょう」

ロイド「え、あの……」

テーブルにつく一同。

ロイド・ランディ以外「いただきます」

ロイド「あの、ちょっと待ってくれみんな！　だからこの人は……？」

キーア「ヴァン・ジョーだよ。キーアのお友達！」

ヴァン「そう、お友達なのだ！」

ヴァン&キーア「ねー！」

ロイド「は、はぁ……ずいぶん大きなお友達…なんだな……」

ランディ「おい！　おっさん！いつまで俺は給仕しなきゃならないんだよ！」

ティオ「ランディさん、紅茶のお代わりをください」

ヴァン「『ランディは、ティオのティーカップに紅茶のお代わりを注いだ』」

カップに紅茶を注ぐ音。

ティオ「どうも」

ランディ「だからー！」

ロイド「なぁ、エリィ。今のはいったい……」

エリィ「私にもよくわからないけど……ナレーションした通りに人を操ってしまう、ヴァン・ジョーさんの特殊能力らしいの」

キーア「いいなー。キーアも、ランディを操ってみたい！」

ヴァン「おお、いいじゃないか。ほら、キーアちゃんもやってごらん」

キーア「うん！　それじゃ、キーアにお菓子持ってきて、ランディ！」

コン、とSE。

キーア「あ、あれ？　どうしてお菓子持ってきてくれないの？」

ランディ「いや、どうしてって言われてもなぁ……」

キーア「んー、んー、もう1回！　キーアにお菓子持ってきて、ランディ！」

コン、とSE。

ランディ「ははっ、どうやらキー坊の言葉じゃ、そこのおっさんみたいに俺を操ることは出来ないようだな！」

キーア「うぅ……」

ティオ「ランディさん……最低です」

ランディ「いっ!?」

ロイド「そうだよ、お菓子を持ってくるって命令ぐらい、かなえてあげてもいいじゃないか」

ヴァン「そうだそうだ！　弟ブルジョワジーの草食系男子を装った喰いまくりのリア充野郎がいいこと言った！」

ロイド「っておい！　あんたがキーアにあんな台詞を吹き込んだのか！」

ティオ「あ、やっぱり覚えてたんですね、そのセリフ」

ウォン！　とツァイトの鳴き声。

ティオ「『幼子を泣かせるとは、男子の風上にも置けない』だそうです」

ランディ「おいおい、ツァイトまで……」

エリィ「（迫力あるトーンで）……ランディ、はやくお菓子を持ってきてくれないかしら？」

キュピーン！　とエリィの眼光が鋭く光る。

ランディ「ひいっ！　た、ただいまっ!!」

ドタドタとランディが台所に走っていく。

ロイド「出た、エリィの必殺技『豚を見るようなジト目』！」

ティオ「あの目に睨まれたら、誰しもが蛇に睨まれたカエルになるという……恐ろしい魔眼です」

ドタドタとランディが戻ってくる。

ランディ「はぁ、はぁ……ほれ、キー坊、お菓子だぞ」

キーア「わーい！　ありがと、ランディ」

エリィ「良かったわねー、キーアちゃん。そうだ！　せっかくだから、わたしもランディに、お願いしてみちゃおうかな」

ランディ「えっ？　お、おいおい、お嬢までなにを……」

エリィ「（恐いトーンで）言うこと、なんでも聞いてくれるのよね……？　いつもは雑にやってる床掃除も、ぴっかぴかにしてくれるのよね……？」

ランディ「ひいいいいっ！」

ロイド「こ、これはマズいぞ、エリィが本気モードだ……」
ティオ「いつもランディさんが雑にお掃除した後、エリィさんが細かく掃除してましたもんね……部屋の角っことか」
エリィ「（恐いトーンで）さぁ、すぐにぞうきんを持ってきて。今日はみっっっちり、隅々までお掃除してもらいますからね……！」
ランディ「ひいいいいっ！」
ヴァン「はっはっは、特務支援課の諸君は、本当に仲良しだなぁ」
ランディ「これのどこが仲良しに見えるんだよ！」
ヴァン「仲間とは助け合うもの。君たちを見ていると、心からそう思える」
ランディ「だから！」
　ここらへんからいい雰囲気のＢＧＭ。
キーア「ねぇねぇ、ヴァン・ジョーにも、仲間がいるの？」
ヴァン「もちろんいるよ。共に芝居を作り上げる、最高の仲間がね」
エリィ「お芝居……あぁ、ヴァン・ジョーさんは役者さんなんですか」
ヴァン「正確には声優というお仕事なんだがね。そりゃ、私たちも時にケンカをする。けどそれは、最高の作品を作るために必要なことなんだ」

ロイド「そういえば、アルカンシェルのイリアさんもそんなこと言っていたな」
ヴァン「あぁ……仲間達が恋しいな。よし」
　ヴァン・ジョー、イスから立ち上がる。
ヴァン「わたしはこれでお暇させてもらうよ」
キーア「えー！　ヴァン・ジョー帰っちゃうの？」
ヴァン「ごめんね。だけど、わたしを待っている仲間たちがいるんだ」
ティオ「せめて、晩ご飯ぐらい一緒に……」
エリィ「そうですよ。今日はランディが豪華なディナーを作ってくれるみたいですし」
ランディ「お嬢⁉　なんかサラッとヒドいこと言ってない⁉」
ヴァン「こうして特務支援課の諸君と出会えて、よかったよ」
ティオ「ヴァン・ジョーさん、また遊びに来てください……みっしぃグッズの新作を持って」
ヴァン「ははっ！　そうしよう」
キーア「ヴァン・ジョー、またね！」
ヴァン「キーアちゃん……名残惜しいが、お別れだ。また、君たちの活躍をナレーションできる日を、楽しみにしているよ！」
ロイド「ヴァン・ジョーさん……」
ランディ以外「さようなら！」

　扉を閉める音。
ランディ「ケッ、二度と来んなっつーの！　……っていうか、なんで最後すっげーいい話風になってるんだよ！　お前らも！」
ロイド「いや、なんか……雰囲気に流されちゃって」
エリィ「ヴァン・ジョーさんに言われると、平凡なことでも、何だかすごくいいセリフに聞こえちゃうのよね」
ティオ「新作のみっしぃグッズをくれました。いい人です」
キーア「キーアはヴァン・ジョー、好きだよ」
ランディ「なぁキー坊……いいか、今からお兄さんが大事なことを言うから、耳の穴かっぽじってよ～っく聞いとけよ。ひとつ！　落ちてる物を拾わない！　ふたつ！　知らない人にはついていかない！　みっつ！　ヘンなおっさんに声をかけない！　分かったか？」
キーア「はーい！」
　バタン！　と玄関の扉が開く音。
ロイド「え……ヴァン・ジョーさん⁉」
エリィ「なにか、忘れ物ですか？」
ヴァン「……どうやって帰ればいいの？」
全員「え？」
ヴァン「（泣きそうになりながら）どうやって元の世界に帰ればいいの～っ⁉　ぜんっぜんわかんないんだけど！　ねぇ、誰か教えてよぉ～！」
ロイド「いや、そう言われても……」
ヴァン「（泣きじゃくりながら）お願いだよぉ～！　誰か教えてくれよぉ～！」
キーア「よしよし、ヴァン・ジョー、泣かない泣かない」
ヴァン「キーアちゃぁ～～～～～～ん！　うぇ～～～～～ん！」
ロイド・エリィ・ティオ・ランディ「はぁ……」
ヴァン「『こうしてヴァン・ジョーは、しばらく特務支援課にやっかいになるのだった』」
ロイド「って、なに勝手に決めてるんだよ！」